

次代を担う若者たちとの意見交換 第3弾!!

中学3年生への出前授業を実施しました!

平成30年12月、市内6中学校（第一中学校、毛野中学校、山辺中学校、西中学校、富田中学校、坂西中学校）の中学3年生に向けて、議員が社会科の外部講師として「市議会のしくみ」や「市議会議員の役割」について説明する出前授業を初めて実施しました。

今回の開催は、平成29年11月に開催した市内県立高校生との議会報告会・意見交換会、昨年10月に開催した足利大学の学生とのまちづくり討論会に続く企画として、中学生が地方自治への学びを深め、議会への関心を高めてもらうことを目的として、各校のご理解とご協力をいただき実施しました。

実施日	12月5日	12月6日	12月7日	12月18日	12月19日	12月20日
実施校	富田中学校	山辺中学校	坂西中学校	西中学校	毛野中学校	第一中学校
参加生徒数	36人	216人	135人	151人	137人	58人



「市議会のしくみ」説明の様子（約15分）



自由質問の様子（約30分）

- ・今回の授業で市議会がどのようなものか、また、足利市指定ごみ袋がなぜピンク色なのかを知ることができ、とてもよい機会だった。
- ・市議会議員はとても重要な仕事をしていると感じた。だから、1票の大切さがよくわかった。1票で社会が変わっていくと考えると、自分も投票しようと思った。
- ・市民からの要望は、皆が必要とするものを実現していくことがわかった。
- ・自分たちの生まれ育ったこのまちをよくするために、今の年齢で実行することは難しいかもしれないが、考えることは少なくともできると思う。

◆中学生からの
主な感想◆